



撮影：変集長 20190106／つばき

明けましておめでとうございます

本年も皆様の投稿をお待ちしております

変集局一同

☆☆今後の予定☆☆

1 月 23 日 (火) 13 : 30~15 : 00

福井市公共交通活性化会議

1 月 26 日 (日) 9 : 00~12 : 00

公共交通活性化アイデア集制作会議

2 月 4 日 (火) 18 : 00~21 : 00

公共交通活性化アイデア集制作会議

ROBA2 月例会・理事会

2 月 13 日 (木) 14 : 00~16 : 00

えちぜん鉄道活性化連携協議会

2 月 16 日 (日) 9 : 00~12 : 00

公共交通活性化アイデア集制作会議

2 月 22 日 (土) 2 時~ ウイング・ウイング高岡 6F

第 18 回中部地区路面電車サミット高岡大会

☆☆活動報告☆☆

12 月 10 日 公共交通活性化アイデア集制作会議

ROBA12 月例会・理事会

14~15 日 第 17 回全国バスマップサミット(岡山)

12 月 26 日 臨時理事会

1 月 14 日 公共交通活性化アイデア集制作会議

ROBA1 月例会・理事会

善光の一言 ⑱

今年は、どんな一年に？

オリンピック選手を目指す会員？ の富山県在住、善光です。新しい年が始まりました。

今年は“東京オリンピック”が開催されますね。

みんなで世界各国の選手を応援し、盛り上げましょう！

さて新春早々、人が歩かなくなった高岡の中心地に
大勢の人が訪れた“高岡なべ祭り”。万葉線は市街地
区間は 7.5 分間隔に増発されるなど、公共交通は大活
躍でした。

そんな明るい話題もある中、近年、温暖化による可能性が高い異常気象が多発しています。恒例、
海での空手の寒稽古も厳しさは年々薄れます。昨年は富山でも暴風雨があり、その影響もあって海岸
に打ち上げられた大量の山間地からのゴミ。そのごみにまじって“クルマミ”がたくさん。稽古そっち
のけでクルマミ拾いが始まります。良い事か、悪い事か・・・。今年は大災害の無い年になる事を願
いたいですね。



第17回全国バスマップサミット岡山に参加して

林 博

岡山で開催された全国バスマップサミットに参加しましたので報告します。2003年に岡山で初めて開催され2周目に入りましたが、まだまだやるべき課題がたくさんあり、新たな取り組みも行われました。今後とも、さらなる進化を遂げていくのではないかと楽しみが増えた有意義なサミットでした。

初日は、テーマが若い人向けだったのでROBAの若い人にも声掛けをしましたが、都合がつかなかったことようで、私も不参加でしたが、面白かったです。

12月13日(金) バスデータを活用したバスマップ作成合宿 下電ホテル

13:00~15:45 データ整備実習

「見える化共通入力フォーマット」を使って、バスのGTFSデータを作成する。

16:00~18:15 マップ実習

チーム①：GTFSデータでバスの運行頻度図を作る

バスデータ(GTFS)を地図ツール(QGIS)に投入し、地域のバス路線網を見える化する。

チーム②：バスマップのIllustratorテクニック

バスマップを作るときのIllustratorのテクニックを披露しあい悩みを一緒に解決する。

講師陣：太田恒平(トラフィックブレイン)、東出賢一(RACDA 高岡)、佐野一昭(バス停研究家)

伊藤浩之(公共交通利用促進ネットワーク)、福田匡彦(八戸・青い森ウェブ工房)、神場雅史

18:30~20:00 夕食宴会

20:00~ ナイト テクニカルセッション……各自10分位の技術披露、お悩み相談

2日目はROBAからは林、清水、阪神から松原が参加しました。(高橋八さんは過労で欠席)

初日の合宿に参加した若い人たちの発表が午前中行われ、内容はユーチューブでも配信されています。

バスマップサミット岡山 2019「20代が拓くバスマップ新時代」#bms2019 <https://youtu.be/jacr4dwy-6Y>

昼食前には幹事会が開催され、次回18回大会が11月28日に岩手県の滝沢市(盛岡市の衛星都市)で開催されることが決まり、次々回の19回大会は福井が前向きに検討していることを報告しました。全国のバスマップについての報告で、福井からはマップの活用事例として、総合バスターミナルのバスマップ看板作成、小中学校の補助教材や転居者向けのミニマップの提供などについて行いました。



阪神MAPの報告をする松原さん



パネディスカッション(会場の質問回答同時表示)

12月14日(土) 第17回全国バスマップサミット岡山 参加費2000円

10:30~11:45 「20代が拓くバスマップ新時代」 5人の発表+ディスカッション

11:45~12:00 全国バスマップサミット幹事会 (その後昼休み)

13:00~13:05 全国バスマップサミット オープニング

13:05~14:05 「全国のバスマップのこれまでと未来」 岡山・福井・中部・仙台・広島など
「オープンデータでバスマップ」前日の成果 太田恒平

14:10~15:35 「岡山から考える交通の未来」

基調報告1 「バスマップから始まった人間中心まちづくり」
国土交通省道路局国道・技術課道路技術分析官 牧野浩志

基調報告2 「岡山市公共交通網形成協議会の現状」
岡山市都市整備局次長(都市・交通部長兼務) 平澤重之

基調報告3 「交通シミュレータによるコントロール」
東京大学副学長・教授 吉村 忍

基調報告4 「公共交通オープンデータで見る岡山」
トラフィックブレイン代表取締役社長 太田恒平

15:45~17:00 シンポジウム「バス情報からまちづくりへ、バスマップの新展開」
はじめに 「バスマップには公共交通を変える力がある〜岐阜市の挑戦を踏まえて」
名古屋大学教授 加藤博和

パネルディスカッション コーディネーター 加藤博和

17:00~17:45 各地のバスマップ・資料展示 (展示は10時以降可能)

18:30~20:30 懇親会 会場：グランス glance 岡山市北区錦町3-4 2F



懇親会会場へは西川緑道を通して



懇親会では「バスの乗り方ビデオ」も参加

12月15日(日) バス現地見学会 西大寺・牛窓方面、瀬戸芸アクセスマップを使った観光の可能性

10:00 両備バス西大寺営業所集合、車庫見学など(9:20から嶽バス停見学会あり)

11:45 牛窓行き南回り乗車

翌日はバス見学には参加せず、JR 桃太郎線を使って、沿線の吉備津彦神社、吉備津神社、備中高松城址を巡る旅を行い、「吉備路散策」を作成しました。興味のある方は、スマホでフリーソフト「NaviTabi」をダウンロードしてまち歩きを楽しんでください。<https://navitabi.co.jp/> 作成 FOA は私です

第17回全国バスマップサミット in 岡山の合宿とバス現地見学会 [松原 光也]

12月13日から15日まで第17回全国バスマップサミット in 岡山に参加しました。全体のプログラムや本会議については、林さんが報告されているので、私は若手が活躍した合宿と現地バス見学会のようすを報告します。本会議では林さんがROBAの活動紹介(写真1)とのりのりマップの展示をされていました(写真2)。

合宿は当初プログラムになかったのですが、岡さんが岡山のバス問題の際に、協議会でトラフィックブレインの太田氏が作成された、バス区間別の本数が記載されたバスマップを見て、時代が変わったなど感動され、ぜひ、みんなに見てもらい、多くの人が作れるようになれば、ついでに自分も覚えたいということで、鷺羽山にある下電ホテルで開催されることになりました。そして、太田氏のコーディネートで、バスマップを作成し、ネットで公開している若手5人が集まり、作成の手法やこだわっている点、課題などをじっくり発表、対話するため、合宿形式となりました。瀬戸内海と瀬戸大橋の夕景が素晴らしい部屋(写真3)で、急遽用意されたインターネット接続環境(Wifi)とプロジェクターに、参加者がPC持参(写真4)という対比が、新しいバスマップの進化を象徴しているのかもしれません。

合宿に参加するにあたり、デジタルバスマップを自動作成するために必要な、太田氏が指定したソフトを事前にインストールしておくこととメールが来ていました。私は前日、15日で運行を休止する宇高フェリーに乗船するため、高松のホテルに泊まりました



写真1：ROBAの発表



写真2：のりのりマップの展示

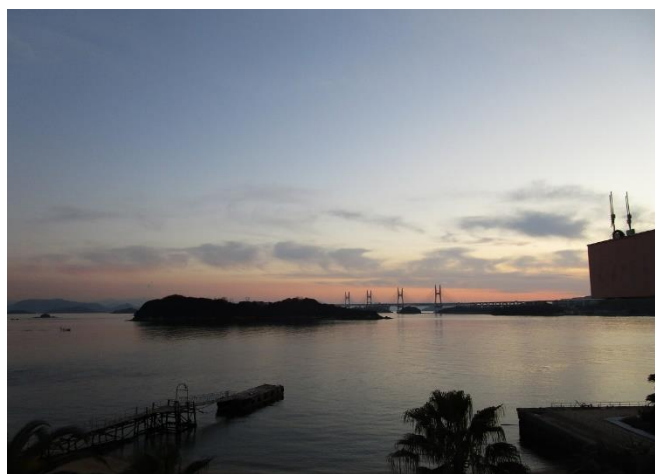


写真3：下電ホテルから瀬戸大橋の夕景を望む



写真4：PC持参でデジタルバスマップ講習

が、夜の23時半にホテルに入り、24時頃からソフトをダウンロードし、2つのソフトをインストールし終えたのは4時頃で、高松港7:50発のフェリーに乗るため、睡眠は2時間ほどとなりました。講習は最初にGTFSファイルの作成方法を学びます。GTFSはバス停や路線に関する共通フォーマットで、全国で整備を進めようとしているところです。バスに関する情報を共通で管理しておけば、バスマップを作りやすくなり、乗り換え案内に使えるだけでなく、事業者はダイヤや時刻表、乗務員の運用表も作成することができます。路線図ドットCOMの伊藤氏には「見える化共通入力フォーマット」というGTFS作成ツールを教えてくださいました。そして、バスマップを作成するために、バス停などの情報を検索、加工するためのデータベース管理ソフトであるPostgreSQLの使い方、そして、位置情報とデータベースを結び付けて色々な地図を表示、作成するためのQGISの使い方を教わりました。両方ともインターネットでつながった状態で使う無料のソフトで、大勢で一度に使ったこともあって処理に時間がかかりましたが、なんとかバスマップを表示させることができるようになりました(写真5)。バス会社の情報がGTFSで公開されていれば、バス停の位置を自動で結んでバスマップを作ってくれるようになるのです。

一段落着いたところで、みんなで鍋を囲みながら懇親会が行われました。ただ、合宿はこれで終わりではなく、懇親会後にはナイトテクニカルセッションとして、バスマップを作成し、インターネット上で公開しているメンバーが工夫している点や、課題などを紹介してくれました。バスマップに限らずデジタルマップはラスターデータとベクトルデータに大別できます。数学の授業で習った人はわかると思いますが、紙面かインターネットで公開しているかの違いではなく、バス停や路線のデータを、ラスターデータは絵として描いたもの、ベクトルデータは緯度経度や方向の情報を持っているものです。ラスターデータは鉛筆で描くように、最近はイラストレータなどのソフトを使って、パソコン上で描くことができ、のりのりマップもこの形式で作られたうえで、印刷されています。路線の配置などを見やすいように工夫して作成するのですが、手間がかかりますし、変更が生じるたびに描き直しが必要です。路線が交差するところの線を曲げたり、線と線の間隔広げてわかりやすくしたりしてい



写真5：運行本数を示したバスマップ



写真6：両備バス西大寺車庫での見学



写真7：西大寺に展示されているキハ7号

るそうです。困っていることは、やはり手間がかかるので、寝る間をおしんで作成時間を確保したり、それが趣味なので作っている時はよいが、公開したら間違っていると冷たく批判されて、更新する気力が失われたなどの意見がありました。一方、ベクトルデータからツールを使って作成すると、自動で地図を表示してくれます。バス停の位置情報や路線情報を更新すると、バスマップも自動で更新してくれます。ただし、ツールを作成するのに技術力が必要ですが、用意されているツールを使えば簡単です。ただ、バスは通常同じ場所に路線が複数通るので、それをベクトルデータで表示すると、重なってしまいます。それを防ぐために、路線が複数あると線やバス停をずらして表示させたり、バス停名を拡大した時は全て表示するが、縮小した場合は主要バス停だけ表示させる機能をつけたりしているそうです。これを高校生がやっているのですから、頼もしいというか、将来が楽しみです。非常に中身の濃い合宿となりました。

15日の現地バス見学会は両備バスの西大寺バスターミナルにある車庫を見学させていただきました(写真6)。バスターミナルには両備グループの前身である西大寺鉄道の車両キハ7号が静態保存されていました(写真7)。バスの車庫では水戸岡鋭治氏デザインの観光用車両であるSOLARVE(写真8, 9)も見学することができました。車内は木をふんだんに使った温かみのあるインテリアで、遊び心あふれる水戸岡さんらしいデザインでした。西大寺からは両備グループから分社化された東備バスに乗車して、牛窓に向かいました。牛窓バス停は瀬戸内海に面した風光明媚な所で、ROBAなら優良バス停に認定ですね(写真10)。夕景も写真で紹介しておきます(写真11)。牛窓の活性化を目指して、クイズに答えながら観光スポットをめぐる「ウシマド街角クエストに挑戦しながら、街歩きを楽しみます(写真12)。クイズに正解すると、そ



写真8：観光型バス SOLARVE



写真9：観光型バス SOLARVE の車内



写真10：東備バス牛窓バス停



写真11：東備バス牛窓バス停の夕景

こは牛窓の絶景ポイントでした（写真 13）。また、希望者はフェリーで 5 分の前島に渡り、かき小屋で冬の味覚を堪能しました（写真 14）。私は島に行くと 1 周しないと気が済まないのです、レンタル自転車を借りて島めぐりをすることにしました。バスは走っていないのですが、伊藤氏、太田氏、それに若手 5 人衆も同行することになりました。結構起伏があるとのことで、電動自転車を選びましたが、大正解でした。島 1 周は 15km ほどですが、展望台への途中や、海岸に出るまでの道はかなりの急坂で、3 時間ほどで帰りのフェリーに乗りたいこともあって、威力を発揮してくれました。バス停調査の時にやるそうですが、トラッキングといって、GPS 機能をつかって現在地の緯度経度の軌跡を記録しながら、瀬戸内海に浮かぶ美しい島をサイクリングします。普段は家にこもってバスマップ作りにはげむ若手 5 人衆ですが、発表の時は別世界の人間かなと思いつつも、島の緑や青い空と海のコントラストに感動して写真を撮っている様子は、われわれと変わらないなと少し安心しました。

本会議で、若手が困っていて、おじさん世代（30 代以上だそうです）に求めることはなにかという問いに、自分たちは好きだから、バスマップを作成・公開していて、多くの地域のバスマップを作りたいが、ソフトやパソコン、インターネットにもお金がかかるので、作ったものが有効に使用されるのであれば、金銭面で補助があればありがたいし、それで社会に貢献できるとうれしと語ってくれたのは非常にうれしく思いました。今後が楽しみです、バス停情報の整備やバスマップ作成に資金が提供されるしくみづくり、バスマップのさらなる活用を進めていくことがわれわれの年代の役割かなと思いました。



写真 12：牛窓まち歩き



写真 13：ウシマド街角クエストのゴール地点



写真 14：前島のかき小屋

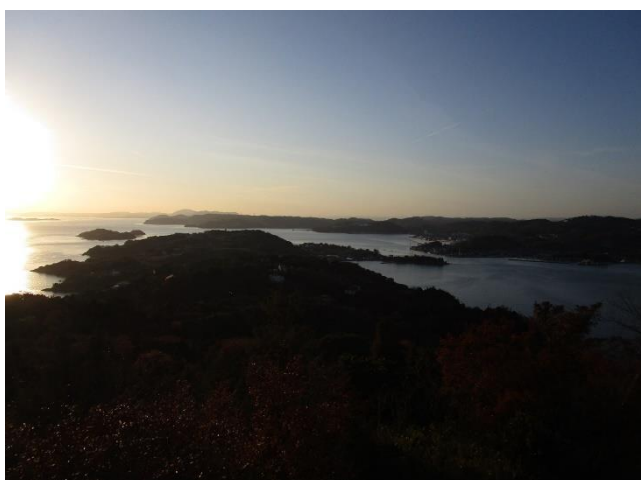


写真 15：前島展望台からの瀬戸内海の夕景

バードウォッチング Part 1

昼休みに気分転換を兼ねて、JR 越前花堂駅周辺を散歩することがあります。駅隣接地には狐川が流れていて、カモやサギを見ることができます。これまでは表通りを歩いていましたが、探検ついでにコースを裏通りに変えてみたところ、うれしい出来事がありました。

冬のこの時期になると、水を張った田んぼで「小さいカモ」の大群を間近で見ることができます。鳥の事はあまり詳しくないので、その筋の人に聞くと、「コガモ」だそうです。確かに小さいカモだと思っていたので、そのままの答えが返ってきました。

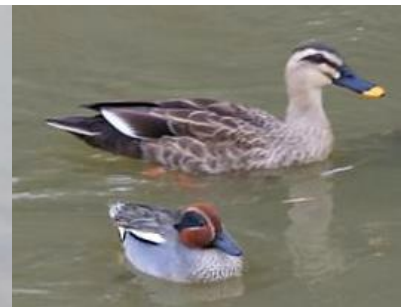
私の散歩道では、メス 8 割オス 2 割で集まっています。

このコガモ、鳴き声が可愛らしくって、「ピリリーツ」と笛を吹く音と間違える程の音色を出します。最初のころは、隣の線路で JR の設備点検でもしているのかな？と思っていたので、雄鳥の鳴き声という事が分かりました。

近くの狐川にもカモがいますが、コガモではないと思う……



▲コガモのメス(左)とオス(右)



▲カルガモ(上)とコガモ(下)

【コガモの特徴】参考：日本野鳥の会より

・ほぼハト大で、カモのなかまでは最小。

全長：38cm

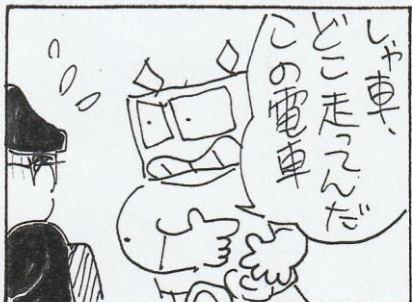
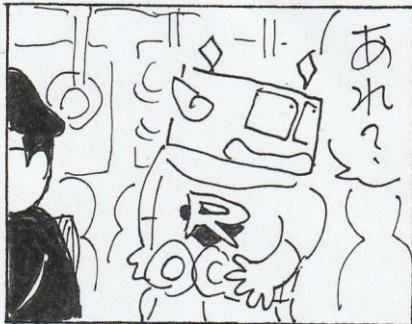
・湖沼や河川などに多数飛来し、秋早くから春遅くまで見られる
(一部は北日本で繁殖)。

茶色の頭に緑の帯、尻の横に黄色い三角模様。

冬になると、雄が首と尻を上にと反す求愛行動が見られる。

雄はピリ、ピリと笛の音のような声、雌はクーキューとカルガモより高い声。

小怪速！ by. うしろ哲
路面ライダー



作／漆寄 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「新年あけましておめでとうございます。12月26日に臨時理事会を開催いたしました。日頃定例の理事会では議論できないことを集中して議論できてちょっとした新鮮味もあり、素のROBAに戻った感覚になり、有意義な時間でした。」

林(変集長)

「久しぶりの8ページ。投稿していただいた皆さん、感謝、感謝です」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>